

裾野麗峰山の会・山行報告書		文・GM	写真・GT
山行番	NO. 1843		
日時	2019/10/20(日) 霧・小雨		
山域	富士山・お中道		
コース	須走駐車場7:27-東富士山荘一本五合(新六合)長田山荘8:53-ブル道- 標高約2620m・お中道入り口-白い沢10:06-最高到達点・標高約2670 m10:18-砂走り南・ブル道10:36-駐車場11:30-東富士山荘(昼食) 11:40~12:20		
標高差	上り 駐車場下約1970m~最高到達点約2670m=約700m 下り 同上		
快適度	5(5段階評価)=藪はない		
参加者	GT、GM、IK=3名		

今回の山行は計画が二転、三転し、最終的に往路は須走口5合目から出発して新6合目、お中道の一部を歩行し、復路はブルドーザ一を下って、5合目に戻ってくるという山行となった。

当初は西丹沢・御正体山のバリエーションの予定であったが、当日朝、御正体山のバリエーションは藪で露に濡れて辛そうなので、藪がない富士山に変更し、御殿場口に向かっていたら、自転車競技のため12時まで通行止めということで、結局、須走口からの登山となった。

個人的には須走口からの登山は初めてあり、これで行っていない登山口は吉田口だけとなった。

7時半に須走登山口の駐車場に到着。既に数台の車があり、10月も半ば過ぎているのに富士山に登る物好きな人が我々も含めて結構いるものと思った。

須走口の5合目(1970m)の菊屋、東富士山荘の横を通って、登山道を登り始めた。



須走口の駐車場



須走口5合目

登り始めてすぐに樹林帯に突入、しばらく樹林の中のゴロゴロした道を登り、樹林帯を抜けると山頂が見え始めた。

10月20日になっても雪のない富士山も珍しいし（22日に初冠雪）、須走口から見える富士山の形は宝永山の火口もなく、いつも裾野から見ている風貌とだいぶ違っていった。



須走口の樹林帯



須走口からの山頂風貌

さらにしばらく登っていくと、新6合目の長田山荘に到着、ここで、吉田口に向かう「コノスジ道」が分岐していた。

そこから、宝永山方面に向かうルート（お中道）を探すためにブルドーザー道を200m程登っていくとお中道を示すピンク色のテープを見つけることができた。



吉田口への分岐道標



宝永山方面へのお中道入り口

そこからお中道を宝永山方向に進み始めた。草木は無くなり、視界の開けた火山砂礫が続き、アップダウンはないが、景色も見えず、歩いて面白い道ではなかった。

しばらく、火山砂礫のお中道を突き進んでいくと、昔の噴火で溶岩流が流れ下った時にできた岩が下流までずっと続いていた。（後で地図を確認したところ、不浄流しで、須走口5合目の下まで続いているようだ）

それにしても、こんな溶岩流の痕跡が風化せずに残っているのを見ることができて、ラッキーだった。この溶岩流跡の岩場を横断し、また火山砂礫のお中道をしばらく進んで、天候も悪くなってきたので、往路は終了。

復路は同じ道を引き返すことにした。



宝永山方向へ向かうお中道



お中道 道標



お中道の不浄流しの横断



不浄流しの道標

復路はお中道の途中からブルドーザー道を一気に下ることにした。

念のため、スマホでブルドーザー道のルートを確認したが、このブルドーザー道を下れば、須走口の駐車場に行けるようだ。今日は丹沢に行く予定だったので、富士山の地図は持っていなかったが、スマホでルートを確認できたので、安心して下ることができた。

しかし、周りの景色が見えないせいか、このブルドーザー道はとにかく長く感じた。1時間程で駐車場に着いたのだが、2~3時間下ったような気がした。



復路のブルドーザー道

11時半に駐車場に到着後、東富士山荘で昼食を取ることにした。

東富士山荘の食堂を使わせてもらうので、何か一品注文しなければならず、私は生ビール、GTさんはおでん、IKさんは、1200-の「きのこ天ぷらうどん」を注文した。



きのこ天ぷらうどん

天候はあまり良くなかったが、何とか雨にも降られず、一般の登山道を歩いているには見られない不浄流しを見ることができて、ラッキーな山行であった。

その他の記述（GT）

1. 須走口登山道路は、キノコ狩りの人が溢れていた。
2. 東富士山荘で米山さんと交流。いつも穏やかな人柄が嬉しい。岩田潤泉（いわたににずみ）さん・米山さんのNHKラジオ・小山町のふるさと納税・ブル道、などの話題だった。



米山さん

<https://www.yamakei-online.com/journal/detail.php?id=1941>・・・岩田関連ネット

3. 須走口は、台風19号の影響は大きくなかったが、登山道を1本樹木が塞いでいた。

4. 長田山荘で、オーストラリアから来た若い男女に会った。



岩田潤泉さん（2年前逝去）看板が素晴しかった！！

5. 富士山の「ブル道」は酷い。あれでよく「世界遺産になった！！」生活のためとはいえ、結局、自身の首を絞めている。

6. お中道は、2013年以来だったが、ルートの記憶が定かでなかった。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/363.pdf>

7. 下山後、東富士荘で「オデン」を食べた。緑茶・コーヒーがサービスでした。

8. あそこが、「不浄流し」か確信がない。

以上



(了)

